

● いい映画をこのまちで このまちのひとと <ここ de シネマ>

第6回は、とってもチャーミングな映画を紹介します。だって、気負わず、あきらめず、いっしょに生きてきたいじゃないですか。

えちごつまりり
越後妻有の里山暮らし。

風の波紋

小林茂 監督作品

『阿賀に生きる』(撮影) / 『チヨコラー』



撮影 松根広隆
現場録音 川上拓也
音響 菊池信之
編集・アソシエイトプロデューサー 秦岳志
編集協力 山崎陽一
音楽 「めざめのとき」天野季子 作詞・作曲歌
プロデューサー 矢田部吉彦 長倉徳生
後援 「小林茂の仕事」O.T.S.ケ隊
助成 文化庁文化芸術振興費補助金
製作 カサマフィルム 配給 東風
2015年 / 99分 / DCP / カラー / 日本

山形国際
ドキュメンタリー映画祭2015
正式招待
日本映画撮影監督協会
第24回 JSC賞



www.kazenohamon.com

● お目の不自由な方へ 当日午後1時に相模大野駅中央改札口から誘導いたします。● お耳の不自由な方へ 受付にて手話通訳と筆談でお迎えいたします。
字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映 視覚・聴覚ご不自由なお知り合いもお誘いください。
NPO法人ここずっと ● 主催

2017年

2月4日(土)

ミニライブ・監督トークつき!

開場 PM1:30

上映開始 PM2:00

入場料
1000円

会場

相模女子大学グリーンホール
多目的ホール

相模原市南区 相模大野 4-4-1
相模大野駅下車 伊勢丹となり

中学生以下・障がい者の付添いの方 無料

風が教えてくれたこと。いのちと暮らす、いのちを食べる。

『阿賀に生きる』『阿賀の記憶』のスタッフたちが見つけたドキュメンタリー映画の新たな地平。

【鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館】

新潟県十日町市の鉢集落にあり、2005年に廃校になった真田小学校が、2009年空間絵本美術館として生まれ変わって誕生。美術館は丸ごと、『やぎのしずか』『ちからたろう』などの著作で知られる絵本作家の田島征三さんが長年思い描いてきた空間絵本となっている。



【越後妻有（えちごづまり）】

新潟県十日町市と津南町からなる760kmにわたる越後妻有地域。有数の豪雪地帯として知られ、2000年から3年に一度「大地の芸術祭」が開催され、まちおこしとアートを結びつける先駆となっている。

天野季子（あまの・ときこ）

埼玉県出身、新潟県十日町市在住。大学卒業前に独学で唄いはじめ、東京や島、ギャラリーを中心にライブ活動を行う。学生時代からボランティアとして参加していた「鉢&田島征三絵本と木の実の美術館」立ち上げスタッフとしてNPO法人越後妻有里山協働機構に入社。映画に登場する天野冬話（とわ）ちゃんの母。撮影を通じて小林監督と出会い、移住から現在まで紡いできた音の集まりが、テーマ曲提供につながった。『風の波紋』主題歌「めざめのとき」を収録するファースト・アルバム『めざめ』を発表。ジャケット・絵画は田島征三さんが担当した。



『風の波紋』上映にひきつづき――

テーマ曲「めざめのとき」作詞・作曲・歌の

**天野季子 ピアノ弾き語り
と**

小林 茂 監督トーク



(C) 橋本紘二



小林 茂（こばやし・しげる）

1954年生まれ。新潟県長岡市在住。佐藤真監督と組んだ『阿賀に生きる』の撮影により日本映画撮影監督協会1回 JSC 賞受賞。監督作品に『こどものそら』『わたしの季節』（毎日映画コンクール記録文化映画賞）『チョコラ!』など。2016年から和光大学教授。2002年脳梗塞に倒れ、腎不全から透析暦10年。

(C) 佐藤鉄男

わたしたちのまちで、いつしよに
映画を観て、語り合う
それが、このまちの優しさを
つくりだしてくれる――
コミュニケーション・ここ de シネマ

**だれとでも楽しめる
バリアフリー上映で**

イヤホン付き FM ラジオをお持ちください。
ラジオの貸出しもいたします。
(先着 20 台まで)

お問合せとチケット購入はこちらへ

主催



NPO法人ここずっと

〒252-0303 相模原市南区相模大野9丁目6番18号
TEL 042-745-0676 FAX 042-742-0447
メール info@cocozutto.jp

※ここ de シネマ 開催事業は、さがみはら市民協働ファンド・ゆめの芽の助成を受けています。

**次回
ここ de シネマ
第7回は
8月11日（金・祝日）
PM2:00上映
お楽しみに！**